

収支報告

	平成29年度	平成30年度	平成31年(令和元年)度
寄付金 収入 (賛助会員費含む)	922万円	1,027万円	1,131万円
経常費用 内訳	<p>管理費 27% (250万) 事業費 73% (684万) 934万円</p>	<p>管理費 29% (292万) 事業費 71% (712万) 1,004万円</p>	<p>管理費 30% (400万) 事業費 70% (917万) 1,317万円</p>
事業費内訳	<p>マネークリップ 19% (127万) 実家便 81% (557万) 684万円</p>	<p>マネークリップ 14% (97万) 実家便 86% (615万) 712万円</p>	<p>マネークリップ 13% (122万) 実家便 87% (795万) 917万円</p>

ご協賛、寄付のお願い

当財団は、皆様からの寄付金を財源として運営しています。
当財団の活動にご賛同いただき、ご支援・ご協力をお願いいたします。

<h3>振込みによる寄付</h3>	<h3>リサイクル募金</h3> <p>書籍や書き損じはがきなどの買取金を寄付していただける仕組みです。</p>	<h3>賛助会員</h3> <p>年会費は個人1口 ¥10,000 法人1口 ¥50,000です。</p>
-------------------	--	---

財団概要/役員

名称：公益財団法人あいである
所在地：〒141-0031
東京都品川区西五反田 7-22-17 TOCビル12F
TEL：03-6435-0444
E-mail：info@idealideal.org
設立登記：2015年4月1日
公益認定：2017年4月1日

代表理事 木皿 昌司
理事 笠作 真一郎
下田 隆二
中村 安志
森 智之
吉田 倅子
若杉 千秋
渡辺 修三
監事 相楽 行孝

評議員 太田 一平
武田 哲
安岡 利朗

諮問委員 坂本 輝子
坂本 博之
柴山 英士
村井 美紀



公益財団法人あいであるは、

「保護者がいない、保護者のもとで暮らすことが適当でないと考えられた子ども」の健全育成支援を行う財団法人です。

事業として、社会的養護出身者の退所後の支援「実家便™」、社会的養護児童の自立支援「お金の管理に関するレクチャー」を行っています。

あいである Annual Report 2020

ご挨拶 ～社会情勢と社会的養護児～

子ども期の健やかな育成は、児童福祉法第1条及び第2条に定められており、すべての国民の努めであるとともに国及び地方公共団体の責任であり、一人一人の国民と社会の理解と支援により行うものです。

国の方針による家庭での養育推進によって、里親・ファミリーホームに委託されている子どもは7,100人を超えています。一方で、児童養護施設等の社会福祉施設に入所している子どもは約30,000人。^(※1)虐待などの重篤な場合は児童養護施設等の社会福祉施設入所となる場合が多く、児童養護施設に入所している子どもの65.6%に何らかの被虐待経験があると報告されています。^(※2)

児童養護施設で生活している子どもの処遇は、国や行政からの措置費加算、配置職員数の改善などにより手厚くなっています。また、ボランティアによるサポートを含め、深い愛情と専門的スキルを有する職員により子ども期の健全な発達を目指した養育を受け、子どもは明るく元気に生活しています。しかしながら、親権者である実親、子どもの人権への配慮もあり、その生活の様子が多く語られることはありません。

児童養護施設で養育されている子どもは、社会で生活を始めることへの準備も整わない、法律的、金銭的な後ろ盾もない中、18歳という年齢に達したというだけで自活を始めます。社会人としては未熟な18歳児が、親からの支援もなく、非正規雇用など社会的格差が広がる中で、

自分の生活費を稼ぎ、自立・安定した生活を送ることが容易ではないことはご想像いただけると思います。

施設入所児及び退所児を取り巻く現状を踏まえ、子どもたちに対し、お金の取り扱いや公的制度、コミュニケーションの仕方など社会で生活するうえで必要な知識を学ぶ機会、社会への適応状況や困ったことをすぐ相談できるようなアフターケアサポートが求められており、当財団の支援はその要望に応えるものです。

親と一緒に住むことができなかった空虚感や、虐待を受けていたことによる心身のダメージからの回復など、自分自身の生育環境を受け入れ、子どもなりに折り合いをつけていくには時間を要します。その間、子どもたちが自活、そして自立に向かっていけるようサポートをすることが社会全体で子どもを養育することに繋がっていくのではないのでしょうか。

新型コロナウイルスの感染拡大や大規模自然災害の影響による疲弊と不安が増大している中、親元で暮らす子どもへの身体的虐待や育児放棄等の痛ましいニュースを目にするたび、生育環境の難しさ、支援の手が差し伸べられなかったことに胸が痛みます。このような事態、このような状況だからこそ本来守られるべき社会的弱者への配慮や支援が忘れられる事のないよう願っています。

代表理事 木皿 昌司

(※1)平成31年3月末現在 「令和2年4月 厚生労働省子ども家庭局家庭福祉課」

(※2)「児童養護施設入所児童等調査の概要」(平成30年2月1日現在) 「厚生労働省子ども家庭局 厚生労働省社会援護局障害保健福祉部 令和2年1月」

実家便

施設を退所し自活を始めた子どもに6月と12月の年2回、施設を退所した年から5年(10回)を最長支援期間として、施設からの申請を受け食品や生活用品を発送しています。

施設退所者と施設をつなぐ「実家便™」は、施設退所者にとっては施設や施設職員とつながっていることの安心感を得ること、施設にとっては子どもの居場所確認とともに、私たちはあなたを気にしていますというメッセージを「モノ」と「言葉」の両方で送る支援です。

施設退所者が、本当の意味で自立するまでには、時間を要します。唯一の拠り所である児童養護施設とのつながりを持ち続けることは、子どもが再び負の連鎖を生まないための一助となるセーフティネットであり、自立への見守り支援です。



新規支援者宛 平成31(令和元年)6月送付



継続支援者宛 平成31(令和元年)6月送付

継続支援者宛 H31(令和元年)12月送付

実績

平成29年度

新規支援人数 166
継続支援人数 208
対象施設 85

継続支援に加え、新規受付枠を200名に拡大し申請を受け付けたが、結果として34個を余すことになった。施設長会議での支援紹介、既存支援施設への新規施設紹介依頼などを継続して行い、知名度向上とともに、支援の効果についての認知拡大を図っている。
諮問委員会から、支援対象者の継続率が高いとみられ、見守り支援としての効果に期待を持っているとの意見をj得る。

平成30年度

新規支援人数 172
継続支援人数 284
対象施設 96

施設長会議での支援紹介、既存支援施設への新規施設紹介依頼などを継続して行い、知名度向上とともに、支援の効果についての認知拡大を図っている。
集中豪雨や地震などの災害時を想定した実家便の初回セットについて、「停電時にランタンがあることを思い出して使い、一緒に入っていた職員からの手紙を読み返し、暗い中でもホッとする事ができた。」という報告とお礼を、子ども、職員から受け、内容物の検証につながる。

平成31年(令和元年)度

新規支援人数 207
継続支援人数 344
対象施設 113

施設ごとに単年度での支援対象となる子どもの人数に変動があることを考慮し、今年度から新規の応募について、1施設の申請人数制限5名を撤廃した効果により、応募が多かった。新規分として200名の募集を行い、審査の上207名に発送を行った。内容物については、自然災害の多発により、協賛団体からの支援は他の支援への分散傾向にあったが、商品の寄贈、特別価格による協賛団体が増えたことにより、充実が図ることができている。

「お金の管理に関するレクチャー」



社会的養護施設の下で暮らす子どもは、お金の管理や心構え、契約手続きなど社会人として必要なスキルを学ぶ機会がほとんどないまま18歳で施設などから退所し、社会で自活を始めます。未熟なまま施設を退所せざるを得なかった要社会的養護児が金銭的トラブルに陥らないよう、社会適応力をつける機会として、お金の管理や、生活設計について学ぶレクチャーを開催しています。



カード形式のゲームで、取りくみやすい内容です。

社会的養護の下で暮らす子どもがお金の管理について学ぶためのレクチャーを行っています。

実績

平成29年度

新規8団体、継続2団体

平成29年12月26日版の読売新聞(全国版)に、「児童養護施設 退所後を見守る」として、マネークリップが紹介されたことは、施設関係者への信頼醸成にも寄与し、当法人としても施設関係者への紹介がしやすくなった。

平成30年度

新規12団体

職員を対象としたレクチャーを行ったうえで、児童と職員を対象としたレクチャーへと発展させるケースもあり、各施設がお金の管理や生活設計についての指導方法を模索している中で好評を得ている。

平成31年(令和元年)度

新規9団体、継続1団体

職員を対象としたレクチャーが9件、児童と職員を対象としたレクチャーが1件となった。各施設ともお金の管理や生活設計についての指導方法について模索しており、職員の意識合わせにも役立つと好評であった。



諮問委員会から

あいであるの活動について
ご意見を頂きました。

「実家便」については、支援者数が増加しており、児童養護施設で働く現場の職員から、多くの賛同を得ることが判断できます。実家便を受け取った子どもからお礼の手紙を受け取ることも増え、お礼の手紙からは彼らなりの感謝を感じます。

今後、より多くの子どもに、より質の高い支援を提供するためには、実家便を受け取った子どもの意見を汲み取り、反映させること、また、実家便を支援して下さる協賛企業を安定的に確保することが必要であると考えます。

「マネークリップレクチャー」については、少しずつではありますが、受講施設は増加しております。児童養護施設に入所している子どもは、マネークリップレクチャーの受講を通し、社会の仕組みやマナー、突発的な支出などについて学ぶことができています。

坂本 輝子 諮問委員

(特定非営利活動法人社会的養護で育つ子どもたちの地位向上ネットワーク理事長)

広報紙「あいであるREPORT」を年2回発行し、広報活動を行っています。「あいであるレポート」は、ホームページ上に掲載しています。

右のQRコードを読み取り、アクセス!「あいであるレポート」がご覧いただけます。



実家便を受け取った 子どもの声

- 自分のために多くの方が支援してくれたことを感謝しています。
- お世話になった施設職員やその他の方々がこれほど支えてくれていると思うと更に頑張ろうと思えます。
- 一人暮らしを始め、色々なことがありましたが、この実家便にも大きく助けられました。



- 実家便とても助かりました。ありがとうございます。
- 大学に在学中の頃、友人が実家から仕送りされたものを見て、「いいな」と思ったことがあります。
- 実家便でその気持ちを感じることができ、実際に送ってくださったものはとても助かりました。
- これからも頑張る生きていきます。



あいであるの皆様、あいであるに寄付をくださった企業・団体の皆様、ボランティアの皆様、施設職員の皆様、その他「実家便」にかかわってくださった多くの方々、本当にありがとうございました。

今後は少しでも恩返しまでは難しいですが、社会の役に立てよう頑張ります。日頃から応援してくれる方々への感謝を忘れずに生きていきたいです。



実家便の内容物は、**企業・団体様による物品のご提供により、**内容物の充実が図られています。

実家便の内容物を
チェック!

財団購入分
約¥3,000



企業・団体様による
無償・特別価格でのご提供

実家便内容物は、約¥3,000 + α!



実家便の内容物は、約3,000円分を財団で購入。その他に、企業・団体様から無償・特別価格にてご提供いただく商品によって充実した内容となっています。

例えば、新規支援者向け実家便に入っている防災用品のほとんどは、企業様による協賛品です。

参考

実家便の内容物を通常購入した場合の想定額

新規支援者向け: 約**7,000円**
(平成31年(令和元年)6月)

継続支援者向け: 約**9,000円**
(平成31年(令和元年)6月)

実家便を1箱発送するのにかかる費用の内訳(概算)



直接費	■ 内容物	-----	¥3,000
	■ 倉庫・送料	-----	¥2,060
間接費	■ 事務・管理費	-----	¥2,940

¥8,000

ご協力企業・団体

多くの企業・団体様のご協力を
いただき活動しています。



食品ロス・リポーンセンター

防災非常食を
ご寄贈いただきました。



セカンドハーベスト・ジャパン

お菓子、レトルト食品
などをご寄贈
いただきました。



日本ハム株式会社



レトルトカレーや
缶詰などを協賛価格にて
ご提供いただきました。



まいにち株式会社



携帯用トイレを
ご寄贈・協賛価格にて
ご提供いただきました。



マルコメ株式会社



即席みそ汁、梅甘酒を
ご寄贈いただきました。

株式会社 **アーテック** 株式会社アーテック



防寒シート、
LEDランタンなどの
防災用品を
ご寄贈・協賛価格にて
ご提供いただきました。



株式会社 白子



お茶漬の素を
ご協賛価格にて
ご提供いただきました。



株式会社たらみ



ゼリーをご協賛価格
にてご提供
いただきました。



株式会社パン・アキモト



37か月保存可能な
防災備蓄パンを
ご寄贈いただきました。



前田製菓株式会社



「あたり前田のクラッカー」
でお馴染みの
前田製菓株式会社様。
クラッカーをご協賛価格にて
ご提供いただきました。

メトロ キャッシュ アンド キャリー ジャパン株式会社



メトロ様はヨーロッパを中心に
世界25か国で卸売店舗を展開する、
食のプロ専用の卸売り市場です。
実家便内容物の大量発注に
ご対応いただいております。